
第 18 回 町田市交通マスタープラン推進委員会 会議録

開催日時：2015 年 8 月 3 日（月）10 時 00 分～12 時 00 分

開催場所：町田市庁舎 2 階 2-3, 2-4 会議室

出席委員：（敬称略、順不同）

兵藤哲朗、岡村敏之、犬飼武、石川雄司（代理：小川）、下田利幸、望月裕、
岡村夏樹、磯嶋雅彦、上田敬生、平江良成（代理：保田）、
志賀英介（代理：河辺）、野木圭太、永山輝彦、岡村淳、田崎達久、
樋口孝治、本谷大、山崎龍男、藤井洋介、石井幸隆、安藤信哉（代理：竹田）、
伊藤正巳、松香光夫（代理：前野）、船橋玲二

傍聴人：0 名

事務局：沖哲郎都市づくり部長、岩岡哲男交通事業推進課長、鈴木稔係長、
半田一喜係長、高田絵美主任、佐々木真人主任、石阪啓介主任、
坂田典久主事、若林裕子主事、中田喜久主事、小山慎太郎主事

【会議次第】

1. 開会挨拶
 2. 委員委嘱
 3. 議題
 4. その他
- *****

【議題】

1. 路線バス新規路線導入実証実験運行事業について
 2. 町田バスセンターから野津田公園までの連節バス運行計画について
 3. 玉川学園コミュニティバス「玉ちゃんバス」南ルートの進捗状況について
 4. 市民バスまちっこ（公共施設巡回ルート）のバス停移設とルート変更の検討について
 5. 町田市交通マスタープラン及び町田市都市・地域総合交通戦略の点検について
 6. 相原地区におけるデマンド型交通等の新たな公共交通システム導入検討について
- *****

【資料】

- 路線バス新規路線導入実証実験運行事業について：資料 1
町田バスセンターから野津田公園までの連節バス運行計画について：資料 2
玉川学園コミュニティバス「玉ちゃんバス」南ルートの進捗状況について：資料 3
市民バス「まちっこ」（公共施設巡回ルート）のバス停移設とルート変更の検討について
：資料 4
町田市交通マスタープラン及び町田市都市・地域総合交通戦略の点検について：資料 5
相原地区におけるデマンド型交通等の新たな公共交通システムの導入検討について
：資料 6

<開会挨拶>

省略

<委員委嘱>

省略

<資料確認>

省略

<議事>

1. 路線バス新規路線導入実証実験運行事業について

[資料説明]

路線バス新規路線導入実証実験運行事業について：資料1

事務局による説明（省略）

[意見等]

(委員長) 町田駅までの所要時間はどれくらいを見込んでいるか。また、往復はバス1台で行うのか。

(事務局) 所要時間は45分を見込んでいる。また、往復はバス1台で行う予定である。

(委員長) 鶴川団地や薬師台地区など、比較的人が多く住む地域を運行経路に含むので、多くの方に利用してもらうことを期待したい。また、多くの方に利用してもらうために、市から市民へ、この事業に関する情報の提供や周知が重要であると思う。

2. 町田バスセンターから野津田公園までの連節バス運行計画について

[資料説明]

町田バスセンターから野津田公園までの連節バス運行計画について：資料2

事務局による説明（省略）

[意見等]

(委員長) 現在、町田バスセンターから野津田公園への直通バスはあるのか。

(事務局) ない。現在は鶴川駅からのみ野津田公園への直通バスが運行している。

(委員長) 運行の時期はいつを計画しているか。また、運行本数はどれくらいを計画しているか。

(事務局) 運行の予定について、今年度の3月にFC町田ゼルビアが所属するJ3リーグが開幕するので、それに合わせて2016年の2～3月に運行を開始したいと考えている。ただし、運行ルート上の交差点等の工事を行う必要があり、警視庁と協議中であるため、運行開始の明確な時期は申し上げられない。また、本数の計画について、1日あたり1往復、多くとも2往復を考えている。運行時間は、町田バスセンター～野津田公園間が片道40～60分程度を計画している。

(委員長) 仮に、運行便数が1日あたり1往復とすると、町田バスセンターから野津田公園に行く際に全員を輸送できるかなどが心配である。

(事務局) まずは、1日あたり1往復を考えている。その上で、需要が大きいようであれば運行便数を2～3便に増やすことを検討する。

(A 委員) 資料2の〔今後の予定〕の中で「必要な箇所は改修工事を実施する。」とあるが、具体的にどのような工事を予定しているのか。

(事務局) 改修工事の内容については警視庁と協議中である。連節バスは通常の大型バスより車幅及び全長が大きいため、予定では、それに合わせて道路の区画線の変更のための工事を行うつもりである。また、必要であれば交差点の拡張工事を行う予定である。

(委員長) 副委員長から聞いたところ、通常の大型バスが通行するのに必要な車線の幅は2.5mであるが、連節バスの場合は2.55m必要であるそうだ。

(B 委員 (代理: C 氏)) 2016年の2～3月に運行を開始したいと考えているとのことだが、路線の延長の申請はしているか。

(事務局) 路線の認可は持っているが、車両の最大寸法変更の申請を行う必要がある。また、運賃の設定の申請に約3ヶ月かかると聞いているので、2016年の2～3月の運行に間に合うように神奈川中央交通株式会社と協議を進めている。

(B 委員 (代理: C 氏)) 補足であるが、連節バスは寸法が大きいため特殊車両に該当するので、特殊車両通行許可の申請が必要になる。関係各省と連携して事業を進めていただきたい。

3. 玉川学園コミュニティバス「玉ちゃんバス」南ルートの進捗状況について

[資料説明]

玉川学園コミュニティバス「玉ちゃんバス」南ルートの進捗状況について：資料3

事務局による説明 (省略)

[意見等]

(委員長) 玉川学園コミュニティバス推進委員会から意見はあるか。

(D 委員 (代理: E 氏)) 特にない。予定通り事業を進めていただきたい。

(F 委員) 資料3のP2の新設のバス停予定位置⑥～⑦の間もバス停を新設する予定だったが、住民の理解が得られなかった、という話があった。ここで言う住民の理解が得られなかったことの具体的な内容は何か。

(事務局) バス停予定位置については、警視庁と協議をしていくつか候補地点を挙げた。そして、候補地点の前の住民に、バス停を設置してよいか交渉をしたところ、バスを待っている人が家の石段に座ることや、家の前にゴミを捨てる可能性があるということ懸念し、家の前にバス停を設置して欲しくないと言う方々がいた。

(F 委員) ⑥～⑦間はバス停が無いので、⑥から⑦に向かうのではなく、⑥の地点でUターンするルートはどうか。

(事務局) この地区は全体的に道路が狭隘であり、⑥の地点も道路が狭隘なため、Uターンするのは難しい。⑥～⑦の間については2箇所ほどバス停を設置したいと考えているので、玉川学園コミュニティバス推進委員会と協力し、引き続き沿線の住民と交渉を続けたい。

4. 市民バスまちっこ(公共施設巡回ルート)のバス停移設とルート変更の検討について

[資料説明]

市民バスまちっこ(公共施設巡回ルート)のバス停移設とルート変更の検討について

: 資料4

事務局による説明(省略)

[意見等]

(委員長) 2点質問がある。1点目は、11月1日に予定しているバスイベントはどのようなことを行うのか。2点目は、2016年度に予定している利用者の実態調査はどのような調査を行うのか。

(事務局) 1点目の質問のバスイベントについて、市民バス「まちっこ」だけでなく市内を運行しているコミュニティバス「玉ちゃんバス」や「かわせみ号」も交えて行き、市民の方々などにこれらのバスについて知ってもらうことが目的である。内容は検討中であるが、神奈川中央交通株式会社と小田急バス株式会社に協力してもらい、バスのグッズ販売等を行おうと考えている。2点目の質問の利用者の実態調査について説明する。現在のルート変更案では三塚を含む3つのバス停が廃止になる予定であるため、三塚より東の住民で市民バスを利用している方にとっては利便性が悪くなる。そこで、3つのバス停を利用されている方を対象に、住んでいる地域やバスを利用する時間帯などのアンケートをとり、その結果が市の考えとあまりにもずれているようであるなら、ルート変更は実施しない。

(F 委員) 別紙2の赤色の路線の箇所は文学館通りと思われるが、文学館通りは道路が一方通行化するなどの計画があることを市は把握しているか。

(事務局) 別紙2の赤色の路線の箇所は文学館通りではなく、市立中央図書館前交差点と原町田三丁目交差点を結ぶ通りである。地図が見つらくて申し訳ない。

5. 町田市交通マスタープラン及び町田市都市・地域総合交通戦略の点検について

[資料説明]

町田市交通マスタープラン及び町田市都市・地域総合交通戦略の点検について: 資料5

事務局による説明(省略)

[意見等]

(事務局) 補足として、資料5のP1に〔交通量調査の実施〕とあるが、実施する箇所は2005年度に町田市交通マスタープランを策定したときと同じ箇所で行う予定である。また、交差点名が変わっている箇所もあると思うが、同じ箇所で行う。

(G 委員) 町田市交通マスタープランには荷さばきや路線バスの項目があるが、タクシー関連の項目が無いと思うので見直して欲しい。

(事務局) 町田市交通マスタープランにはタクシーの項目もあるので、それに対して何か意見があれば、別途ご意見をいただきたい。

(委員長) 一時期は荷さばきに関する議題も挙がっていたが、最近はない。最近の動向を教えてください。

(事務局) 来年度、路上荷さばきスペースの設置に関する実証実験を行う予定であり、今年度から検討を開始する予定である。

(委員長) 他に何か企画していることはあるか。

(事務局) 相原駅や南町田駅、鶴川駅の駅広場の整備のための準備を進めている。

6. 相原地区におけるデマンド型交通等の新たな公共交通システム導入検討について

[資料説明]

相原地区におけるデマンド型交通等の新たな公共交通システム導入検討について：資料6
事務局による説明（省略）

[意見等]

(委員長) デマンド型交通と言っても定義が広く、バス路線に近いようなものからタクシーに近いようなものがあるので、委員の中でもなかなかイメージがつかない方がいらっしゃるかと思う。今年度の12月には需要予測などの検討が終わっているという事なので、その頃になったら事例等を交えながら紹介していただきたい。

(副委員長) 他市の事例に何件か関わったことがあるが、タクシーとして使っているところや、何人か乗合いすることが前提であるワゴン車両を用いている例もある。一般的に、駅から比較的近い地区に住んでいる方が、近隣に買い物等に行く際に利用するには運送事業としてのデマンド型交通は規模が中途半端だと思う。今の進め方に異議を唱えているわけでは全く無いが、運送事業としてではなくて、市が援助を行い地域の方が自主的に運行する方式など様々なバリエーションがある。また、制度が変わると運行主体も一から決め直す必要があるので、地域組織、事業者、市の三者がきちんと調整を行って欲しい。

(委員長) 今年度の12月に出る結果については、第19回町田市交通マスタープラン推進委員会で議論ということになると思うので、調査結果は早めに委員長や副委員長に教えて欲しい。

(H 委員) 資料6のP2の〔現況調査〕の項目で、既存バス路線への影響を調査検討するとあるが、デマンド型交通と既存バス路線との連携をしっかりと確認して事業を行って欲しい。また、別紙3を見ると、今年度中に実証実験を行うとなっているが、厳しいスケジュールだと思うので、それならば公共交通会議で議論をしてから行ったほうが良いのではないかと思う。

(委員長) 焦って進める事業ではないと思うので、慎重にことを進めていただきたいと思う。